

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭
ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2015ShortShorts × UULA 特別製作プロジェクト
May J.最新曲「Love is tough」とショートフィルムの融合を実現

この度、米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(略称: SSFF & ASIA)」を展開するショートフィルムの総合ブランド「ShortShorts」と、ソフトバンクモバイルのスマートフォン向け総合エンタメアプリ「UULA(読み: ウーラ)」との特別製作プロジェクトとして、オリジナルショートフィルムを製作し、6月4日より開催されるSSFF & ASIA 2015のミュージックShort部門での上映、ならびにUULAで独占先行配信することが決定いたしました。作品は、「SSFF & ASIA 2014」でUULAアワードを受賞したアベラヒデノブ監督による作品です。ディズニー映画『アナと雪の女王』日本版主題歌「Let It Go」で大ヒットを記録した実力派シンガーMay J.の最新曲「Love is tough」の世界観をモチーフに製作されました。主演には、今年注目の若手実力派女優の足立梨花を起用し、“幸せな恋愛”をテーマに女同士の友情や恋模様を描いており、ミュージックビデオや映画やドラマとは一味違った映像作品となっています。

本プロジェクトは、音楽・映像業界の活性化、新進気鋭の若手クリエイターの発掘を目的に、SSFF & ASIA 2013を機に、ShortShortsとUULAとの共同プロジェクトとして発足。国内外で精力的に活躍する若手クリエイターを抜擢し、映像と音楽の融合をテーマにしたオリジナルショートフィルムの製作を進めてまいりました。昨年製作されたショートフィルム『半分ノ世界』は、俳優としても大活躍中の齊藤工が監督を務め、配信時より高い評価を受けており、2015年国際エミー賞のデジタル部門にノミネートされるなど、ShortShortsとエンタメアプリUULAによる取り組みが、世界的にも高い注目を集めています。

また、今年の「SSFF & ASIA 2015」でも“UULAアワード”を設置。新たな才能の発掘に引き続き注力していき、映像と音楽の融合をテーマにした新たな映像体験をお届けします。



May J.

足立梨花

<オリジナルショートフィルム概要とSSFF & ASIAでの上映について>

- タイトル : 未定
- SSFF & ASIAでの上映 : ミュージックShort部門 プログラムAにて上映は無料 ※詳細日時は公式サイトより
- 監督 : アベラヒデノブ
- 楽曲 : May J. 「Love is tough」
- 出演 : 足立梨花 中村有沙 丹羽咲絵 柳生みゆ 松村龍之介 木下隆行
- SSFF & ASIAサイト : <http://www.shortshorts.org/>

<UULA配信 概要>

- UULAでの配信開始日 : 6月4日(木)
- 配信話数 : 全4話(1話×約5分)(予定)
- UULAサイトURL : <http://uula.jp/ssff/>

【本発表に関するお問い合わせ先】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局(ユース・プランニング センター内)
担当: 白岩(070-6469-1245)・音部(090-2316-7879) TEL: 03-3486-0575 / FAX: 03-3499-0958
e-mail : ssffasia2015@yppcr.com

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジアに関するお問い合わせ先】

ショートショート実行委員会 担当: 高橋(090-3049-1284) 加賀矢間
TEL: 03-5474-8201 / FAX: 03-5474-8202 e-mail : press@shortshorts.org

<アベラヒデノブ監督プロフィール>

アメリカ合衆国・ニューヨーク州出身の映画監督、俳優・監督・主演『死にたすぎるハダカ』ファンタジア国際映画祭(カナダ・モントリオール)、福井映画祭グランプリ・監督・主演『欲求不満おんせん』池袋映画祭グランプリ・主演『大童貞の大冒険』TAMA NEW WAVEゲストコメンテーター男優賞・主演『あの娘はサブカルチャーが好き』など

監督受賞作品

【映画祭】

- ★「めちゃくちゃなステップで」SSFF & ASIA2014・UULAアワード受賞
- ★「死にたすぎるハダカ」モントリオール・ファンタジア映画祭、福井映画祭グランプリ
- ★「欲求不満おんせん」池袋映画祭グランプリ



<作品あらすじ>

大学時代の友達4人、サナ・ミュキ・アンナ・マコは卒業以来、半年ぶりに同級生の結婚式で集まる事に。

結婚式の帰り道。ミュキの手にはブーケ。彼女のブーケへの執念を笑う3人だったが、相手もない。

サナ達に悲しさがこみあげる。

そんな酔った勢いの4人は、ある意味チャンスかもしれないと、それぞれ想いを寄せる相手に告白することに。

サナも自分自身にけじめをつけるために、かねてより曖昧な関係の相手に告白を決意する。

幸せな恋愛を掴むための告白だったはずが、サナたちの運命は意外な方向へ…。

<SSFF & ASIAミュージックShort部門 概要>

■ミュージックShort部門とは

ミュージックShort部門は、エントリーされたアーティストの楽曲をもとに、クリエイターが創り上げたオリジナルショートフィルムと、レコード会社が制作するアーティストのオフィシャルミュージックビデオの中から、ショートフィルムの視点でセレクトされたストーリーやドラマ性を感じる「シネマ的」な作品を紹介する部門です。

■ミュージックShort部門には2つの賞があります。

(1)UULAアワード

アーティストの楽曲を元に制作、応募されたショートフィルムの中で、最もクリエイティブ性の高い作品に贈られる賞。

(2)シネマチックアワード

レコード会社が制作するアーティストのミュージックビデオの中で、最もシネマ的な作品に贈られる賞。賞金：30万円

※各賞は6月15日(月)に渋谷ヒカリエ ヒカリエホールAにて行われるアワードセレモニーで発表されます。

<SSFF & ASIAミュージックShort部門 上映作品のご紹介>

クリエイターの想像力が十分に発揮されたオリジナルミュージックShort作品の他、国内の各レーベル押しミュージックビデオが今年も目白押し。特別上映作品には、『イレイザーヘッド』『エレファント・マン』『マルホランド・ドライブ』などで有名な映画監督、デヴィッド・リンチによるエレクトロニック・サウンドが特徴的な『Good Day Today』など、国内外からエッジの効いたミュージックビデオ作品を上映いたします。上映作品数は全部で25本です。



ヴォーカルの声を入れているのはデヴィッド・リンチ本人！

『Good Day Today』

Arnold de Parscau / フランス / 4:39 / ミュージックShort / 2011

♪デヴィッド・リンチ「Good Day Today」

家族での夕食の席で、男の子が木のボートで遊んでいる。男の子は、お父さん、お母さん、お姉さんの違う姿を想像しながら、現実逃避に更ける。



最新作『AM』が全世界売上200万枚を突破！

英シェフィールド出身の4人組ロック・バンド、Arctic Monkeysの作品

『Why'd You Only Call Me When You're High?』

Nabil / イギリス / 4:48 / ミュージックShort / 2013

♪Arctic Monkeys「Why'd You Only Call Me When You're High」

酔っぱらった時にしか電話をしないサイテー男が過ごした(本人にとっては)大変な一夜の物語。最後のオチには苦笑しながらも、実は自分も身に覚えがあるという人も多いかもしれない、あるあるストーリー。

シネマチックアワード対象全5作品より抜粋



監督はGreeeeN「キセキ」、JUJU「桜雨」などドラマ風Music Videoで定評のある直(ちよく)。主演の清水富美加さんは朝ドラ「まれ」に出演中。

『ありがとう(完全版)』Arigato (complete version)

直 / 日本 / 9:17 / ミュージックShort / 2014

♪MACO「ありがとう」

出演:清水富美加、稲葉友、田中要次、藤岡信昭

涙が流れて来る。あなただと言えなかった後悔。突然の入院、お見舞いに行きわざと元気に振る舞うレイ、しかし日に日に元気が亡くなるタクミ。早朝病院に駆けつけたときには、もうベッドには彼の姿はなかった…。



撮影地はGLAYメンバーの故郷の函館、歌詞に基づいたストーリー仕立ての内容で、随所にデビュー前のGLAYにまつわるネタ等が盛り込まれている

『疾走れ！ミライ』(HASHIRE MIRAI)

ARATA / 日本 / 18:37 / ミュージックShort / 2014

♪GLAY「疾走れ！ミライ」

函館の地で育った4人の少年達が音楽を通じて仲間との友情、恋、挫折を経験しながら決して諦める事のないロックという夢へ向かって走り続ける姿を描いたサクセスストーリー。



10代同士のアーティストと監督によるコラボレーションで繊細な感情を表現

『フレモノ/注意』(WAREMONO CHUI)

松本花奈 / 日本 / 6:53 / ミュージックShort / 2015

♪竹友あつき「フレモノ/注意」

現代の10代が抱える繊細な感情を見事に表現した竹友あつきの楽曲「フレモノ/注意」を、10代の映像監督が作品化。このコラボは昨年竹友の楽曲を題材に行われた高校生のための映画コンテストによって生まれた。同世代ならこそその視点で生まれたせつないラブストーリーが展開される。



ティーンを中心に熱烈な支持を集める、若手最注目バンドKANA-BOON

谷口鮪(Vo.G)が演技に初挑戦！

『生きてゆく 完全版』(Ikiteyuku Full ver.)

山岸聖太 / 日本 / 25:00 / ミュージックショート / 2014

♪KANA-BOON「生きてゆく」

海辺の町。夢を追い、東京へと出て行ったバンドマンの彼と、地元に残った女優志望の彼女。思い出の海辺で再会した彼と彼女。二人で過ごした日々と、それぞれの現在(いま)。夜の波音の中、想いが交錯する…。



YOJI BIOMEHANIKA with MC STRETCHは、2000年から海外に拠点おき、欧州で絶大な人気を獲得。2007年よりTech Dance という音楽スタイルを提唱し“YOJI”として活動

『The Place For Freedom』

二宮“NINO”大輔 / 日本 / 4:39 / ミュージックShort / 2015

♪YOJI BIOMEHANIKA with MC STRETCH「The Place For Freedom」

「活動休止、ブランクからの復活」という意味合いから“戦い”をテーマとし、侍、悪魔、妖怪をモチーフにおいた新しい世界観が見所です。

【ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2015 概要】 ※下記内容は変更の可能性がございます。

■各会場における開催期間

<東京会場>

表参道ヒルズ スペース オー

6月4日(木) オープニングセレモニー

6月5日(金)～6月7日(日)

シダックス・カルチャーホール

6月5日(金)～6月7日(日)、6月11日(木)～6月14日(日)

アンダーズ 東京 アンダーズ スタジオ

6月8日(月)～6月12日(金)

ラフォーレミュージアム原宿

6月11日(木)～6月14日(日)

iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ

6月12日(金)～6月14日(日)

渋谷ヒカリエ ヒカリエホールA

6月15日(月) アワードセレモニー(授賞式)

<横浜会場>

ブリリア ショートショート シアター

6月5日(金)～6月14日(日) (横浜開催)

※上映期間は6月4日(木)～6月14日(日)です。

※上映会場は(渋谷ヒカリエを除く)東京5会場、横浜1会場となります。

※オープニングセレモニー、アワードセレモニーは一般の方は参加できません。

		表参道ヒルズ スペース オー	シダックス・カル チャーホール	アンダーズ 東京 Andaz Studio	ラフォーレ ミュージアム原宿	iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ	ブリリア ショートショート シアター	渋谷ヒカリエ ヒカリエホールA
6月4日	木	★ オープニング セレモニー						
6月5日	金	●	●				●	
6月6日	土	●	●				●	
6月7日	日	●	●				●	
6月8日	月			●			●	
6月9日	火			●			●	
6月10日	水			●			●	
6月11日	木		●	●	●		●	
6月12日	金		●	●	●	●	●	
6月13日	土		●		●	●	●	
6月14日	日		●		●	●	●	
6月15日	月							★ アワード セレモニー (授賞式)

■一部の有料イベントを除き、東京会場、横浜会場ともに無料上映となります。

※事前予約はオフィシャルサイトから登録が可能です。

※上映プログラム・イベントは決定次第、順次オフィシャルサイトにアップします。

■東京会場限定 スペシャルパスポート

4,000 円(映画祭オリジナルグッズ付)

下記東京3会場の有料イベント以外の全てのプログラムを事前予約・回数制限なくご覧いただけます。

(表参道ヒルズ スペース オー、ラフォーレミュージアム原宿、iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ)

チケット販売はオンラインにて受け付けます。詳細は映画祭オフィシャルサイトをご確認ください。

※キャンセルによる払い戻しの手数料はお客様負担になりますので、予めご了承ください。

■ショートショートフィルムフェスティバル & アジアについて

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優の別所哲也が、創立者として1999年に東京・原宿で誕生。初年度は映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。2001年には「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。これにより、映画祭のグランプリ作品が、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考に入ることになり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への架け橋ができました。

また、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成目的から同年に誕生した「ショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF AISA 共催:東京都)」が誕生し、現在、この2つの映画祭が「SSFF & ASIA」として開催されています。上映内容は、オフィシャルコンペティションをはじめ、「音楽」「環境」「CGアニメーション」など、様々なカテゴリーのプログラムで構成されています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショートシアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ28万人を動員。日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げるとともに、世界に羽ばたく若きクリエイターを本映画祭は応援していきます。